

(別紙1)

総括研究報告書

課題番号	2022E-6				
研究開発課題名	成育分野における医療技術の社会実装支援にかかる体制構築に向けた研究				
分類*	<input type="checkbox"/> ①	<input type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④	<input type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/> ⑦
区分	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input checked="" type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> S
主任研究者	所属	知財・産学連携室			
	役職	室長			
	氏名	阿部 浩之			
実施期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日				

※分類は下記①～⑦より選択

- ① 日本の成育分野の疾患の研究の基盤となる研究
- ② 診断、治療及び予防法の開発に関する研究
- ③ 発症機序や病態の解明等を行う研究
- ④ 診断や治療のための基準の開発等に関する研究
- ⑤ 患児・者のQOL向上に結びつく研究
- ⑥ 研究的視点や技術をもつ医療従事者を育てるための研究
(プロトコル作成のフェージビリティ研究)
- ⑦ 政策提言に結びつく研究

成果の概要

【目的】

大学AROや他のNCにおける社会実装に向けた取り組みや体制について調査し、他機関の事例を踏まえ、成育医療分野に係るセンター内の医療シーズをより効率的に社会実装するための体制構築・強化を図ることを目的とする。

【結果】

- ・他の5か所のNCに対して、知財・産学連携の管理体制、取組などのヒアリングを実施した。
- ・2人体制となったことで、担当シーズの役割分担を行った。具体的には、臨床・病院案件、基礎・研究所案件の担当とした。
- ・特許の出願、維持に費用を負担している成育単独ないしはアカデミア同士の共同出願特許の整理を実施した。特に、導出先企業が見つかっておらず、成育から発明者が移転している特許に関しては、放棄あるいは研究者の移動先機関への権利移転を図った。
- ・特許管理の効率化を図るため、クラウド型のデータベースを試験導入した。